

景観（要約）

伊勢志摩国立公園では、内陸部でも海岸部でも驚くべきさまざまな自然の景観があります。

海岸部は、のこぎりの歯のような形状をしたリアス海岸で有名です。これは、最終氷期後の海面上昇で海水が複数の溪谷に浸水してきたことも含め、さまざまな要因によって長い年月をかけて作り出されたと考えられています。英虞湾の穏やかな海と、まるでジグソーパズルのピースのような形の島々は優雅でおだやかな景観を作りだしています。志摩の太平洋側では、大王崎と南伊勢で切り立った崖と段丘の息を呑むような劇的な景観を見ることができます。

伊勢志摩国立公園の内陸部は、緑の生い茂った森と小さな山々で構成されています。おかげで、数多くのハイキングコースを探訪できます。また、見晴らしの良い場所も非常に多くあり、そうした場所からは、曲がりくねった海岸線と青い海の驚くほど美しい光景を目にすることができます。

伊勢志摩では、内陸の森から、豊かな栄養が複雑な地形の海へ流れ込んでいます。暖流も豊かな海洋生物を養う要因となり、漁村や湾に浮かぶ真珠の養殖いかだといった、人々の生活の風景も形作られています。